

## 平成 31 年・令和元年度和 長崎県柔道場連盟総会（議事録）

日時：平成 31 年 4 月 21 日（日）

場所：長崎市新地町「京華園」

時間：11:30～12:25

### 1. 開 会

松永理事長が議長を務め進行を行う。

### 2. 挨拶

本村会長：本日は県内各地から先生方に集まりいただき感謝申し上げます。3/24 にメモリーード杯長崎県柔道場連盟少年柔道大会が盛会裏に終了した。特に中地区、諫早地区の先生方にはお世話いただき深く感謝している。本日の総会にあたり、活発な意見をいただき、これからの少年柔道の発展に努めたいのでよろしく願います。

近藤智昭副会長：先日の県議会選挙では皆さんのお力をかりて2回目の当選を果たすことができ感謝している。県議会1期目は文教厚生委員長として重要な仕事をさせていただいた。どのような形で柔道と教育をつなげ子どもたちのためになるか、またスポーツを通して人間形成ができるか教育長とも話す機会をいただいている。柔道の目的は「和」。各先生方も柔道を通じて子ども達を育ててほしい。

### 大会成立

本日は会員 73 名の内、出席 37、委任状 28 名、合計 65 名である。よって過半数を満たしており、大会は成立していることを報告する。

### 《報告事項》

#### (1) 平成 30 年度会務・決算・監査報告

会務報告：資料により松永理事長が説明。

会計報告：資料により第 29 回柔道場連盟大会収支報告、平成 30 年度柔道場連盟収支報告について松本会計が説明。30 年度決算では、柔道場連盟大会決算から 654,632 円を繰り入れ、決算額 5,397,228 円である。4,187,191 円を翌年度繰越とする。

監査報告：大串智治監事より報告。

4/17 に第 29 回柔道場連盟大会事業、及び H30 柔道場連盟会計にかかる監査を行い、決算書のとおり誤りなく適正に処理されていたことを確認した。

## (2) 道場連盟普及・強化委員会報告

長崎地区：桂強化委員より報告。5/13Nマーク合同練習を行った。

中地区：俣野強化委員長より報告。10/28 西陵高校でNマーク合同練習を行った。その他、県合同練習に参加し、五島合宿、佐賀合宿に参加した。

佐世保地区：松田強化委員より報告（別添資料参照）。県の合同練習の他、佐世保柔道協会主催の毎月の合同練習に参加、及び吉井少年柔道部主催による合同練習 5/3～4 に参加し、事故もなく無事に終了した。

県Nマーク強化報告：陣内県強化副委員長より説明。各地区において練習をお願いし、8月の五島合宿、2月の佐賀合宿を行った。

松永理事長：説明について、皆さんからの質疑は？ → 質疑なし

## 《協議事項》

### (1) 平成 31 年・令和元年度事業計画（案）・収支予算（案）審議

事業（案）：松永理事長が資料により説明。

#### ●柔道大会の開催及び支援

- ①全国小学生学年別柔道大会予選 5/25（土）県立総合体育館
- ②九州少年柔道大会 7/6～7/7 久留米アリーナ
- ③明社協柔道大会 12/1 県立総合体育館
- ④NCC 杯柔道大会 2/9 県立総合体育館

NCC 番組の担当者が変更したが来年の大会の支援とテレビ放映は確約を頂いている。

- ⑤少柔協「少年柔道教室」 2/23 県立総合体育館
- ⑥メモリード杯柔道場連盟少年柔道大会 3/22 県立総合体育館

来年ローマ法王来崎により体育館が使えるかが未定。場合によっては諫早小野体育館での開催となる可能性がある。

#### ●各道場の支援

- ①全国少年柔道大会（東京）の県代表チームに支援
- ②全国小学生学年別柔道大会（愛媛県）の代表に支援

#### ●選手強化活動（Nマーク強化練習など）

収支予算（案）：資料により松本会計が説明。

予算として収入額 4,712,191 円、支出額 4,712,191 円（繰越見込額 1,782,191 円）

活動費は昨年度の参加実績から 10 万円を減額している。

近藤副会長：活動費は減額しないでほしい。

松本会計：意見を受けて資料では活動費を 70 万円としているが、予算は 80 万円とする。

松永理事長：説明について、皆さんからの質疑は？ → 質疑なし → 承認される。

## **(2) 全国小学生学年別柔道大会長崎県予選について**

松永理事長：全国小学生学年別柔道大会予選はメモリード大会での 4・5 年生（軽重）ベスト 8 を対象に実施する。欠場があった場合には他の選手を補充しない。2 会場で行い審判長は県警の近藤辰正先生に依頼済。A 級審判員 10 名。選手宣誓は小佐々少年柔道教室 6 年生の岩井大湖選手。

山口相談役：女子 5 年軽量 辻美乃さんが退部し出場不可との報告。

## **(3) 九州少年柔道大会について**

松永理事長：九州少年柔道大会は 5/12 に理事会と抽選会を久留米で行い、詳細を決定する。

監督、審判員に日額 3,000 円の補助は有るが、選手への補助は無い。離島の子ども達には何らかの補助を検討中である。

川口先生：女子 4 年重量 田崎希和さんが退部し九州少年大会への出場不可との報告。

## **(4) 役員改選**

松永理事長：先週開催された県柔道協会の総会の折、本村会長が名誉会長に就任されたが、本柔道場連盟においては、本村会長の功績によりこれまで活動が成り立っており、多額の支援協力をいただいている。本村会長以外に考えられない。引き続き本連盟の会長としてお願いしたいと思う。

※出席委員の大きな拍手により、本村会長から了承を得る。

### **■別添令和元年度役員名簿（案）について変更箇所の説明。**

- ・桂孝道 常任理事→顧問（長崎市柔道協会会長）※常任理事の欠員は状況を見て検討する。
- ・大庭義弘 副会長（佐世保柔道協会会長）※柔道場連盟副会長は継続
- ・山口隆治 顧問（諫早市柔道協会会長）
- ・鹿垣初義 顧問（県柔道協会顧問）※柔道場連盟顧問を勇退
- ・板本 功 相談役（県柔道協会元会長）※柔道場連盟相談役を勇退
- ・石川良博 相談役（県柔道協会元副会長）※柔道場連盟相談役を勇退

#### ■強化委員長・副委員長の変更について

本村会長：九州少年柔道大会において最近は上位入賞の結果が出ていないこともあり、桂委員長、陣内副委員長から次の指導者にバトンタッチしてはどうかと思っている。成績を重視したい。

松永理事長：会長の意向で、県で実績を残している諏訪の森柔道教室の松添英一郎先生に強化委員長をお願いしたい。出席委員の賛同は → 「大きな拍手」

松田強化委員：今後の強化練習の方針や練習内容など新たな体制で集まって協議する場を設けてほしい。

近藤副会長：それは良い提案だ。現場を教育の場ともしてほしい。松永理事長から各地区の強化の先生方に早めに通知を出すようにしたい。

#### (5) Nマーク強化練習・強化合宿について

松永理事長：早急に各地区の強化員で協議して、決定事項を各道場に連絡する。

松永理事長：これまでの説明に対し、皆さんからの質疑は？ → 質疑なし → 承認される。

#### (5) その他

##### ■12/1 明社協柔道大会について

佐原県会長：昨年度の大会は中止となった。大会の予算も厳しい現状。大会参加料（5,000円/チーム）が高いため年々参加チームが少なくなっている。また事務局からは、今年度大会を開催したら、繰越金がなくなることも伝えられている。大会を続けるか、止めるかを決める必要がある。

本村会長：今や全日本柔道選手権や講道館杯などの大会で活躍する長崎県出身選手が多い背景には、少年時代からしっかりした大会があったからこそと思う。この大会は必要と思う。予算を柔道場連盟から補助できないか？

松永理事長：継続の方向で事務レベルの協議をしていきたい。連盟も可能な範囲で予算の応援を検討したい。

##### ■九州少年柔道大会の補欠について

山崎常任理事：昨年の大会で選手が途中でケガをして、その後は欠員で団体戦を戦った。補欠がいれば補充ができる。認められないか。

松永理事長：以前は補欠を認め、大会に連れていった経過がある。しかし監督の選手起用の判断で出場できなかった子どもがいて、後でせっかく大会に参加したのに試合に出場できなかったと問題になったことがあり、それ以来、補欠を認めていない。その点で問題がなければ良いと思うし、女子を入れると

か協議してもらえば良い。

#### ■全国小学生学年別柔道大会長崎県予選について

桂先生 : ビデオ判定は行うのか。

松永理事長 : 県の設備を借りて実施する。

佐原県会長 : 県柔道協会が購入して、高体連に貸している。使って構わない。

松本会計 : 2台くらいなら、連盟で購入しても構わない。

松永理事長 : 購入するか検討したい。この大会は県柔道協会の大会なので、開会式では佐原会長から挨拶をいただきたい。

#### ■熊本震災の義援金について

芥川先生 : 3年前に発生した熊本震災への支援について、熊本の先生から長崎県から義援金が送られたことに対してお礼を言われた。熊本出身の私からも感謝したい。

松永理事長 : 県柔道場連盟から義援金として50万円を熊本県柔道場連盟に渡している。

松永理事長 : その他に皆さんからの意見等はないか? → 無し

～議事終了～